



ネットヨタ三重&からっとくらぶ編集室 presents

部活応援隊が行く!!

有馬中学校
吹奏楽部
編

学年の垣根を超えて共に切磋琢磨し、聴く人を笑顔に

有馬中学校吹奏楽部

1年生9人、2年生11人の計20人が一丸となつて練習する有馬中学校吹奏楽部は、三重県アンサンブルコンテストで地区大会を突破し、県大会への出場権を得ました。個性を表現しながら二つの音楽を作り上げる吹奏楽で、自分たちも聴く人も楽しめるよう取り組んでいます。

Q1 部活の魅力は？

A1 (更屋敷さん) いろんな人と関われること、練習の達成感があって楽しいです。うまくなりたいと

部長 更屋敷 心美さん
(さらやしき こみ)



Q2 部長として心がけていることは？

A2 更屋敷さん 学年やパート関係なく、たくさん部員と話すように心がけ、まわりをよく見るようにしています。

Q3 現在の活動内容は？

A3 (更屋敷さん) 県大会出場と、近大新宮(近畿大学附属新宮高等学校・中学校)との合同コンサートにむけて練習しています。



Q4 チームの強みは？

A4 (更屋敷さん) わからないことがあれば先輩に聞くことができる雰囲気があり、2年生が間違っていたら1年生も声をかけてくれます。



Q5 今のチームの課題は？

A5 (更屋敷さん) 同じパートで話さない子もいるので、垣根なく話せるようになることです。練習内容は楽器パートで異なるので、お互いに話すとな練習方法を知ることができます。

二次元コードを読み取ると吹奏楽部コメントが見られます。



Q6 どんなことを意識して練習内容を組み立てていますか？

A6 (森村先生) ピアノを習っていたり音楽が得意だったりする子もいる一方で、楽譜がよめなかったり音楽に携わっていなかった子もいるのでみんなが同じレベルで参加できるように、スモールステップで細かく教えています。



Q7 どんな演奏にしていきたいですか？

A7 (森村先生) コンサートやコンクールに限らず方向性としては聴いた人の気持ちに残るような演奏を心がけています。物静かな子も多いですが、演奏にパフォーマンスを取り入れるなど、とにかく楽しんでもらえるよう努力しています。



Q8 部活動を通して生徒に学んでほしいことは？

A8 (赤根先生) あいさつは基本ですが、努力を大事にすること、切実や仲間を大事にすることを伝えていきます。楽器が未経験の子に対してきめ細かな指導や仲間とのコミュニケーションで少しずつ自信をつけていることがうれしいですね。



顧問 森村 知生先生

顧問 赤根 友世先生

ネットヨタ三重はスポーツ・文化活動で頑張る団体さんの広報活動を応援します!